



光 和

光和小
携帯サイト

9月号
練馬区立光和小学校
令和8年9月1日



地域力

校長 宮林 伸之

日中はまだまだ厳しい暑さの残る夏の終わりです。子供たちの元気な声が戻ってきて、学校は一気に活気付きました。

夏季休業中は、地域の皆様が子供たちの健全育成のために多面的にご尽力いただきました。

7月18日に行われた「第30回光和盆踊り大会」。青少年育成石神井地区光和小地域委員会の皆様初め、光和小PTAや和田町会・石神町会の皆様など…多くの協賛団体の皆様が結束して盛大に開催されました。この盆踊りには、多くの子供たちが嬉々として参加し、やぐらを囲み踊ったり、模擬店で買ったフランクフルトや焼きそばを食べたりと思い出に残る時間を過ごしました。また、子供たちに「故郷光和」として愛着心や郷土愛を育む場となりました。実は、開催の陰には、地域の皆様が前日からやぐらやテントを建てたり、当日は朝早くから模擬店や設営の準備をしたりと尽力されていました。また、開催日の翌日にも、多くの方々が集まり片付けに努めてくださいました。

7月21日～31日の前半部と8月21日～30日の後半部の計21日実施されたラジオ体操。朝早くから大勢の子供たちや地域の皆様が集まって行われました。子供にとってラジオ体操は、早起きによる生活リズムの改善、全身を動かすことでの基礎体力・運動能力の向上、そして地域の人々と触れ合うことによる社会性の育成に大きな効果があります。この機会を光和小地域委員会とPTAの皆様が計画し、毎年実施していることに驚きと感謝の念を抱きました。上記のほかにも、川遊び体験や囲碁教室など子供たちが体験する場を設けてくださったことに感謝申し上げます。

地域の皆様のご協力は、子供たちだけにとどまらず、教職員にも注がれました。7月21日に行われた教職員の地域探検。学校支援コーディネーターのご尽力で実現しました。本校は2年生が2学期に町探検を行い、多くのお店にお世話になります。子供たちが訪れる前に教職員が地域を学ぶために、この会が設定され実現しました。今回、9つの商店がご協力いただき、話を伺うことができました。教職員は、皆様の話を伺って地域や本校への思いや仕事に対する情熱を感じることができました。また、避難拠点連絡会の皆様に講師に招き、講演会も実施していただきました。

上記のことを受けて、以前に目にした地域力についての記事を思い出しました。

現在、地域力の課題は、人口減少と少子高齢化による担い手不足、それらに起因するコミュニティの希薄化などが叫ばれている。そして、地域のイベントや防災、生活インフラを支えてきた自治会・町会などの組織の高齢化が進行し、次世代のリーダーの不足など多岐に渡って影響が及んでいると…。地域力の低下は、地域のつながりの希薄化と地域特有の文化や魅力の喪失につながっていると知りました。

このような現状の中、ここ光和の地域力は…

- ・ 地域の人と人のつながりが強固で大切にされていること…
- ・ 地域行事を大切にし、推進する人々が主体的に動いていること…
- ・ 光和(石神井)に住む人々との交流の場を積極的に設けていること…
- ・ そして、光和小学校の子供たちのためなら何でもするという思いを抱いていること…。

これらのことは、1学期かかわってきた学校運営協議会を初め光和小地域委員会、学校応援団、避難拠点連絡会、光和小PTA、町会…など多くの皆様と接してきて強く感じたことです。

最後に、現6年生が実施した「令和8年度全国学力・学習状況調査」の結果の一部を紹介します。

○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
本校	33.6	48.7	13.4	4.2
東京都	30.7	47.3	17.2	4.7

結果は、「肯定的な回答…82.3% 都比較…+4.3%」でした。

今後も経営方針にある「家庭・地域との『共育』活動を推進し、家庭・地域から信頼される学校」創りを推進していきます。